

# 開発技術情報

## 亜麻仁油アクリレート「XQ-2586」の紹介

### 1.特徴

- ・亜麻仁油由来成分を含有した UV 硬化性材料
- ・バイオマスカウントが可能 (61%<sup>\*1</sup>)
- ・当社従来品 (大豆油由来製品) に比べて硬化性が向上  
UV オフセットインキにおいて、大豆油由来製品との置き換えにより硬化性の向上を期待できます
- ・化審法少量新規物質扱い

\*1：製品中の亜麻仁油由来成分の割合。炭素同位体の分析等は実施しておらず概算値となります。

### 2.製品情報

項目	代表値
粘度 (dPa.s) <sup>*2</sup>	200~350
酸価 (mgKOH/g)	2 以下
色数 <sup>*3</sup>	11
官能基数 <sup>*4</sup>	1.98

\*2：E型粘度計、25℃

\*3：カラーコンパレータ

\*4：計算値

各数値は暫定値。今後改良等により変更となる場合もあります。

### 3.性能評価

#### ● 硬化性

評価対象	硬化性 *5	備考
XQ-2586	3	亜麻仁油アクリレート
UV-5019S	5 以上	大豆油アクリレート 現行当社製品
4 官能アクリルモノマー	5	DTMPTA

\*5：皮膜のタック感が無くなった UV 照射パス回数。数値が小さいほど硬化性は良好。

開始剤割合：各アクリレート / 92%、IRGACURE 907 / 4%、IRGACURE 184 / 4%

試験条件：パーコーターNo.3 にてユポ紙(FGS130)に塗布。UV 照射は 80W/cm 30m/min

考察：亜麻仁油アクリレート「XQ-2586」は、大豆油アクリレート「UV-5019S」に比べて、UV 硬化性が向上した評価結果となっています。

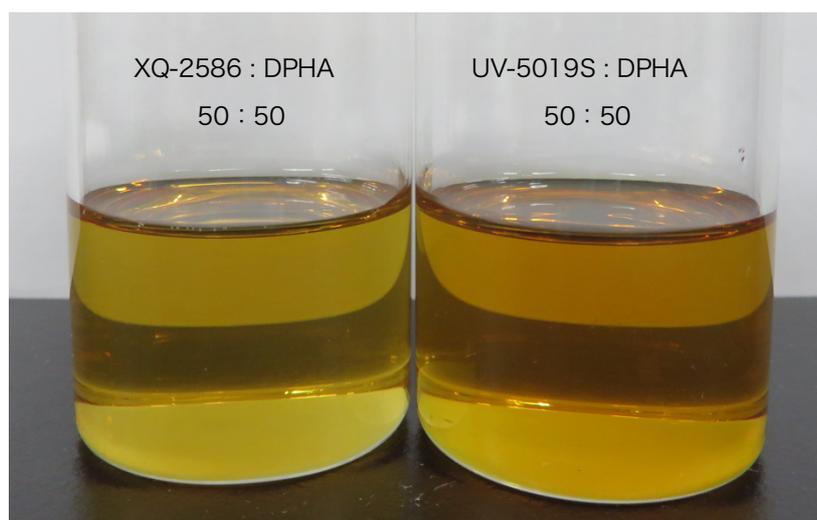
#### ● UV 硬化性材料との相溶性

比較対象

XQ-2586：亜麻仁油アクリレート

UV-5019S：現行当社製品

・DPHA との相溶性



考察：DPHA との相溶性は、どちらも濁り等は生じませんでした。

現行当社製品と同様、DPHA との相溶性は良好となっております。

※当サイトの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

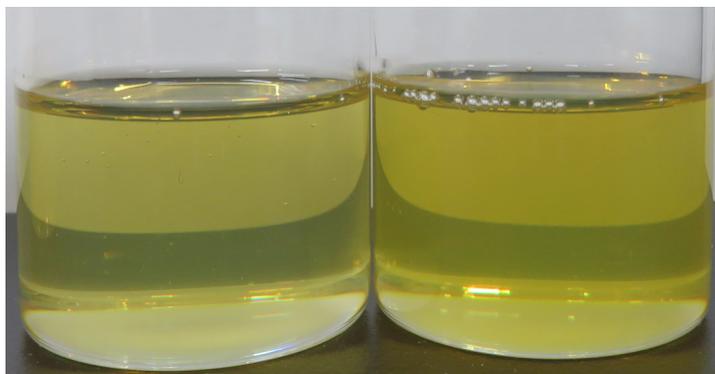
### 3.性能評価

・DAP ワニスとの相溶性

XQ-2586 : DAP ワニス    UV-5019S : DAP ワニス

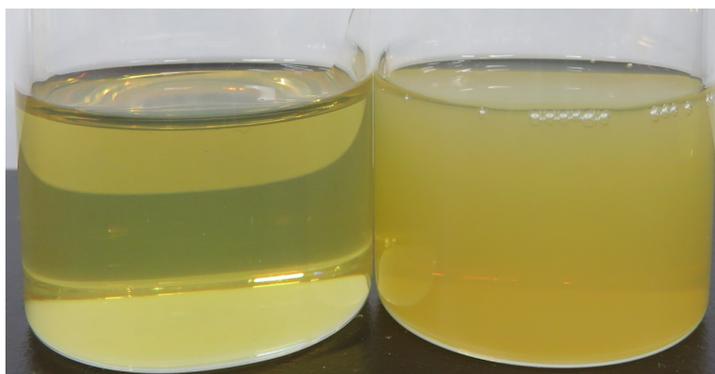
15 : 85

15 : 85



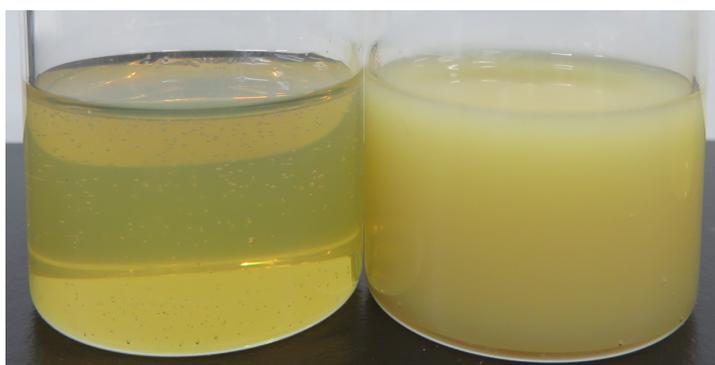
20 : 70

20 : 70



25 : 75

25 : 75



考察：DAP ワニスとの相溶性は、現行当社製品よりも良好な結果となっております。

※当サイトの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。



東新油脂株式会社  
Toshin yushi Co.,Ltd.